

【株主の皆様へ】

第68期 報告書

2022.4.1～2023.3.31

グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1

人の尊重

人を育て、人を活かし、
会社の発展と
個人の幸せの共有を
目指します。

2

企業価値の最大化

株主をはじめとしたステーク
ホルダーの要請に応え、
適正利潤を追求し、
企業価値の最大化を目指します。

3

企業品質の向上

信頼の最大の基盤である
優れた製品品質と企業品質を
提供することによって、
顧客の満足を図ります。

4

技術立社への挑戦

開発型企業として、
たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、
半歩先をゆく技術を提供します。

5

社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、
社会から信頼される企業で
あり続けます。

セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2023年3月31日時点)

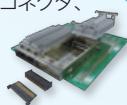
光関連事業 3.6%

RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、
ダイクロミックフィルタ・ミラー、
蛍光ダイクロミックフィルタ、
ショート/ロングパスフィルタ、
バンドパスフィルタ、半導体レーザ光源



コネクタソリューション事業 44.9%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、
インターフェースコネクタ、基板コネクタ、
圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、
YFLEX® (高速伝送用ケーブル、実装基板)



売上高
46,985
百万円

テストソリューション事業 51.5%

バーンインソケット、
テストソケット、
半導体テスト関連サービス



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度(2022年4月1日から2023年3月31日)の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 亀谷 淳一



当連結会計年度における世界経済は、各国においてウィズコロナ政策への転換により経済活動の正常化が加速する中で、長期化するウクライナ問題に起因するエネルギー・資源価格の上昇などにより世界的にインフレが進行しました。この状況に加え各国中央銀行の金融政策の方向転換から為替相場が急変し、米国金融機関の破綻、欧州金融機関の経営危機などの金融不安から、世界経済の先行きに不透明感が高まりました。

当社グループは、世界的な半導体不足に起因する半導体の需要拡大及び、主要市場である欧州産業機器市場での投資回復による需要拡大等により多様化する市場ニーズへのスピーディーに対応を行い、生産体制強化と原価低減及び品質改善を進め、原材料費や輸送費のコストアップ影響を最小限に留めるべく努力を続けてまいりましたが、下期に入り、自動車用ロジック半導体向けは好調に推移したものの、メモリ半導体市場において需要減により在庫が増加し、これによる価格の急落に対して生産調整と設備投資の見直しがされたことに加え、スマートフォン市場の需要低迷による生産調整等、半導体関連事業を中心に厳しい状況に変化しました。

このような状況の下、当連結会計年度の経営成績は、売上高46,985百万円(前年同期比18.7%増)、営業利益9,134百万円(前年同期比9.1%増)、経常利益9,450百万円(前年同期比8.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7,212百万円(前年同期比6.5%増)となり、通期連結期間として過去最高の売上高及び利益を更新いたしました。

今後の世界経済の見通しにつきましては、各国においてウィ

ズコロナ政策への転換により経済活動の正常化がさらに加速する一方で、地政学リスク、エネルギー・資源価格の高止まり、インフレの継続、米中経済摩擦の継続、金融不安等の影響により、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況の下ではありますが、当社グループは2023年4月をスタートとする新たな3ヵ年中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)を策定し、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「お客様と共にグローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでまいります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」をさらに深耕し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図り、経営目標として「未来に向けて夢のある会社になる」ことを目指してまいります。

2024年3月期の通期連結業績の見通しにつきましては、売上高42,000百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益6,600百万円(前年同期比27.7%減)、経常利益6,440百万円(前年同期比31.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益4,500百万円(前年同期比37.6%減)を見込んでおります。

なお、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル＝130.00円、1ユーロ＝138.00円としております。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

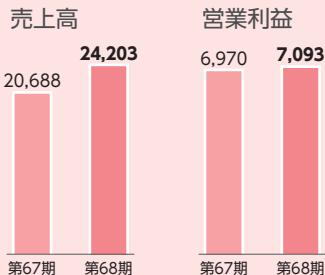
セグメント情報

テストソリューション事業

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

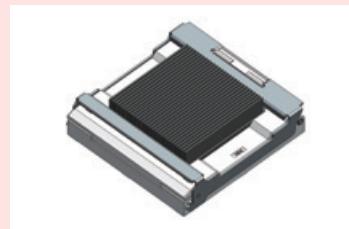
売上高構成比
51.5%

(単位：百万円)



高性能ロジック半導体向けバーンインソケットの拡充

さまざまな領域で導入が進むAI（人工知能）、ビッグデータの活用など、データセンターのトラフィック量が年々増加する中で、膨大な量のデータに対応するために、高性能ロジック半導体のニーズが高まっております。当社では、このような半導体に使われる超多ピン、大型のICパッケージに対応したソケットのラインアップを継続で拡充しております。超多ピンに対応出来る強度を持った構造と操作性を兼ね備えて、ICの発熱へ対応した放熱機構をオプションとしてご用意しております。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提案してまいります。



大型・超多ピン対応
バーンインソケット

コネクタソリューション事業

高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX®（高速伝送用ケーブル）、等

売上高構成比
44.9%

(単位：百万円)



車載カメラモジュール向け小型同軸コネクタのシリーズ拡充

安全性向上による自動運転化へと進化する自動車には、安全や制御、情報収集に至る様々な用途のカメラが搭載され、デジタル化や高性能化、小型化がさらに進み車載カメラの需要は市場の本格化が一層加速し拡大が見込まれております。この背景からコネクタにおいては、複数の情報伝達を行うための高速伝送化や搭載数の増加に伴う省スペース化が求められています。当社は、車載カメラモジュール向けに新たな小型同軸タイプを開発しラインナップを強化しました。今後もアイテムの幅を広げていき、お客様のニーズにお応えする製品開発を進めてまいります。



車載カメラモジュール向け
小型同軸コネクタ

光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源、等

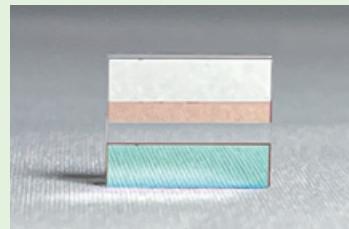
売上高構成比
3.6%

(単位：百万円)



高解像度SWIR（短波赤外線）イメージング用広帯域カットフィルタを製品化

SWIR（Short Wave InfraRed：短波赤外線）は、水を吸収し樹脂を透過する性質を持ち、農作物の水分含有量の測定やパッケージングされた半導体や電子部品の検査など、可視光や遠赤外線では実現できないイメージングに応用できます。今後イメージンサの解像度の向上とともに、その応用範囲は工業分野だけでなく、医療、農業、食品、セキュリティなど様々な分野へも広がっていくことが期待されています。光関連部門では、SWIR用光学系の構築に適した光学フィルタの開発にいち早く取り組み、SWIR用イメージンサやSWIR応用製品を開発するお客様のニーズに合わせた広帯域カットフィルタを製品化しました。

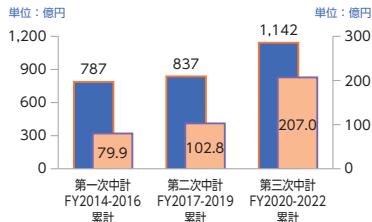


高解像度SWIR（短波赤外線）
イメージング用広帯域カットフィルタ

トピックス

当社は通期連結期間として過去最高の売上高及び利益を更新いたしました。

中期経営計画（2020年度～2022年度）結果について



| | 第三次中期経営計画目標値 |
|------|--------------|
| 売上高 | 883億円 |
| 営業利益 | 111億円 |
| 設備投資 | 100億円 |
| 配当性向 | 30.0%以上 |
| ROE | 10.0%以上 |



| | 2020年度実績 | 2021年度実績 | 2022年度実績 | 第三次中計合計 | 達成率 |
|------|----------|----------|----------|---------|------|
| 売上高 | 276億円 | 395億円 | 469億円 | 1,142億円 | 129% |
| 営業利益 | 31.9億円 | 83.7億円 | 91.3億円 | 207.0億円 | 186% |
| 設備投資 | 38.1億円 | 27.8億円 | 45.5億円 | 111.5億円 | 111% |
| 配当性向 | 30.6% | 30.1% | 30.1% | — | 達成 |
| ROE | 10.7% | 23.7% | 21.1% | — | 達成 |

新中期経営計画（2023年度～2025年度）策定について

2023年度を初年度とする3カ年の山一電機グループ新中期経営計画（2023年度～2025年度）は、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「お客様と共にグローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでまいります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」を更に深耕し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

本中期経営計画では、2025年度に売上高500億円、営業利益100億円を超えることを目指すと共に、事業の競争力強化と持続的な成長の実現、生産性向上と安定的な供給体制の構築、人と組織と社会の調和に取り組んでまいります。

新中期経営計画目標値

- 売上高：1,390億円（3カ年累計）
- 営業利益：250億円（3カ年累計）
- 設備投資：140億円（3カ年累計）
- ROE：10%以上
- 配当性向：30%以上
- 総還元性向：40%以上

自己株式取得内容

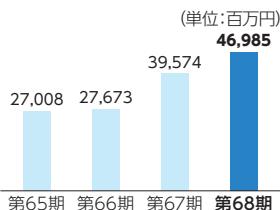
| 取締役会決議日 | 取得上限株数（上限） | 取得上限金額（上限） | 取得期間 |
|------------|------------|--------------|-----------------------|
| 2023年5月12日 | 400,000株 | 700,000,000円 | 2023年5月29日～2023年9月30日 |

自己株式消却内容

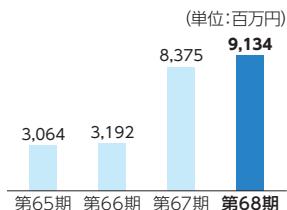
| 取締役会決議日 | 消却する株式の総数 | 消却後の発行済株式数 | 償却日 |
|------------|------------|-------------|------------|
| 2023年5月12日 | 1,500,000株 | 21,829,775株 | 2023年5月26日 |

■ 連結業績ハイライト

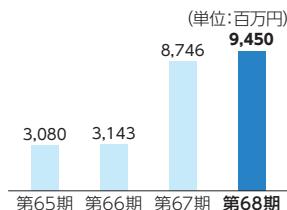
売上高



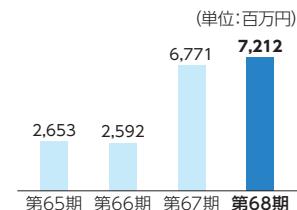
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 (2023年3月31日現在) | 前期 (2022年3月31日現在) |
|--------------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 32,694 | 30,227 |
| 現金及び預金 | 17,230 | 13,573 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,705 | 8,480 |
| 有価証券 | - | 10 |
| 棚卸資産 | 6,547 | 6,388 |
| その他 | 2,211 | 1,774 |
| 固定資産 | 17,674 | 15,144 |
| 有形固定資産 | 15,813 | 13,601 |
| 無形固定資産 | 229 | 244 |
| 投資その他の資産 | 1,631 | 1,297 |
| 資産合計 | 50,368 | 45,372 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 10,428 | 10,675 |
| 支払手形及び買掛金 | 2,220 | 2,377 |
| 短期借入金 | 3,100 | 2,896 |
| その他 | 5,107 | 5,400 |
| 固定負債 | 2,926 | 2,703 |
| 長期借入金 | 450 | 300 |
| その他 | 2,476 | 2,403 |
| 負債合計 | 13,355 | 13,378 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 35,303 | 31,227 |
| 資本金 | 10,084 | 10,084 |
| 資本剰余金 | 1,788 | 1,788 |
| 利益剰余金 | 26,782 | 22,008 |
| 自己株式 | △3,351 | △2,653 |
| その他の包括利益累計額 | 1,409 | 457 |
| 新株予約権 | 178 | 181 |
| 非支配株主持分 | 122 | 126 |
| 純資産合計 | 37,013 | 31,993 |
| 負債純資産合計 | 50,368 | 45,372 |

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 前期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 46,985 | 39,574 |
| 売上原価 | 29,230 | 23,692 |
| 売上総利益 | 17,754 | 15,881 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,620 | 7,506 |
| 営業利益 | 9,134 | 8,375 |
| 営業外収益 | 561 | 455 |
| 営業外費用 | 245 | 84 |
| 経常利益 | 9,450 | 8,746 |
| 特別利益 | 0 | 22 |
| 特別損失 | - | 3 |
| 税金等調整前当期純利益 | 9,450 | 8,765 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,336 | 1,974 |
| 法人税等調整額 | △89 | 15 |
| 当期純利益 | 7,203 | 6,775 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | △9 | 4 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,212 | 6,771 |

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 前期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,846 | 7,637 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,858 | △2,283 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,355 | △1,774 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 553 | 520 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 3,186 | 4,100 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,548 | 9,448 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 16,734 | 13,548 |

会社概要

■ 会社の概要 (2023年3月31日現在)

| | |
|--------|---|
| 商号 | 山一電機株式会社 |
| 所在地 | 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号 |
| 設立 | 1956年11月 |
| 資本金 | 100億8,410万円 |
| 従業員数 | 385名 (連結 2,151名) |
| 主な事業内容 | 1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業 |

■ 株式の状況 (2023年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 23,329,775株 |
| 株主数 | 14,155名 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 大株主 | |

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|--|-----------|-------|
| | 株 | % |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 2,887,300 | 13.92 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) | 2,653,600 | 12.79 |
| RE FUND 107-CLIENT AC | 800,000 | 3.85 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 739,500 | 3.56 |
| 日本生命保険相互会社 | 421,075 | 2.03 |
| 山一電機従業員持株会 | 356,435 | 1.71 |
| RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT-MIG | 287,100 | 1.38 |
| J P モルガン証券株式会社 | 256,867 | 1.23 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 | 226,200 | 1.09 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 | 205,200 | 0.98 |

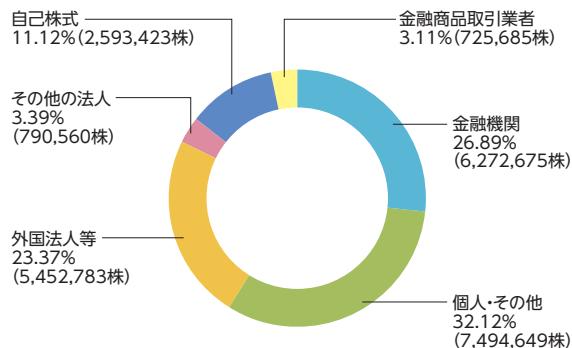
(注) 1. 当社は、自己株式を2,593,423株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式2,593,423株を控除して計算しております。

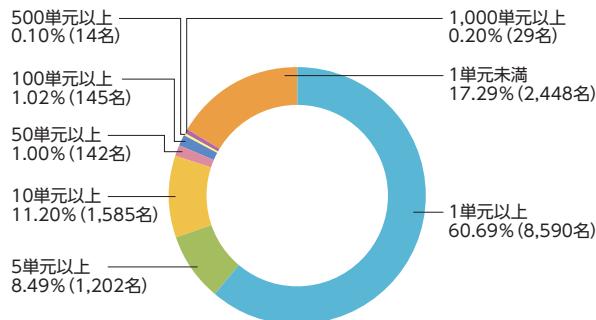
■ 役員 (2023年6月28日現在)

| | | | |
|---------|---------|---------------|--------|
| 取締役会長 | 太田 佳孝 | 取締役 (常勤監査等委員) | 柳澤 光一郎 |
| 代表取締役社長 | 亀谷 淳一 | 社外取締役 (監査等委員) | 岡本 忍 |
| 取締役 | 土屋 武 | 社外取締役 (監査等委員) | 村瀬 孝子 |
| 取締役 | 松田 一弘 | | |
| 取締役 | 岸村 伸洋 | | |
| 社外取締役 | 村田 朋博 | | |
| 社外取締役 | 佐久間 陽一郎 | | |
| 社外取締役 | 依田 稔久 | | |

■ 所有者別株式数分布状況 (2023年3月31日現在)



■ 所有株数別株主数分布状況 (2023年3月31日現在)



株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主 確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主 確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 (プライム市場：証券コード6941) |
| 公告の方法 | 電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。) |

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6941

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 リンクコーポレートコミュニケーションズについての詳細 <https://www.link-cc.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ MAIL: info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」

IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
☎03-3734-0115 (株主様専用) ☎03-3734-0120
ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

